



回線グループの設定

回線グループの設定では、電話番号が選択される順序を指定します。Cisco Unified CallManager は、コール分散アルゴリズムおよび [RNA 復帰タイムアウト (RNA Reversion Timeout)] 設定に基づいて、回線グループのアイドルまたは対応可能状態のメンバーに対して、コールを分散します。

回線グループの追加または削除、回線グループへの電話番号の追加、回線グループからの電話番号の削除については、次のトピックを参照してください。

- [回線グループの検索 \(P.35-2\)](#)
- [回線グループの設定 \(P.35-3\)](#)
- [回線グループの設定値 \(P.35-4\)](#)
- [回線グループへのメンバーの追加 \(P.35-9\)](#)
- [回線グループからのメンバーの削除 \(P.35-10\)](#)
- [回線グループの削除 \(P.35-11\)](#)

回線グループの検索

ネットワーク内にはいくつかの回線グループが存在することがあるので、Cisco Unified CallManager では、固有の条件を指定して、特定の回線グループを見つけることができます。回線グループを見つける手順は、次のとおりです。



(注) Cisco Unified CallManager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、回線グループの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、回線グループの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [回線グループ] の順に選択します。

[回線グループの検索と一覧表示 (Find and List Line Groups)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 ドロップダウン リスト ボックスから、次の条件のいずれかを選択します。

- [が次の文字列で始まる]
- [が次の文字列を含む]
- [が次の文字列と等しい]
- [が次の文字列で終わる]
- [が空である]
- [が空ではない]

ステップ 3 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。また、ページごとに表示する項目の数も指定できます。



(注) データベースに登録されているすべての回線グループを検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックしてください。

検出された回線グループのリストが、回線グループ別に表示されます。



ヒント 検索結果内で回線グループを検索するには、[絞り込み] チェックボックスをオンにし、この手順の説明に従って検索条件を入力します。



(注) 該当する回線グループの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックすると、[回線グループの検索と一覧表示 (Find and List Line Groups)] ウィンドウから複数の回線グループを削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、ウィンドウ内のすべての回線グループを削除できます。

ステップ 4 レコードのリストから、検索条件と一致する回線グループをクリックします。

選択した回線グループがウィンドウに表示されます。

追加情報

P.35-12 の「関連項目」を参照してください。

回線グループの設定

回線グループを設定する手順は、次のとおりです。

始める前に

この手順を実行する場合は、事前に少なくとも 1 つの電話番号を指定しておく必要があります。

手順

ステップ 1 [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [回線グループ] の順に選択します。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 既存の回線グループをコピーするには、対象となる回線グループを見つけて (P.35-2 の「回線グループの検索」を参照)、コピーする回線グループの横にある [コピー] ボタンをクリックし、ステップ 3 に進みます。
- 新しい回線グループを追加するには、[新規追加] ボタンをクリックし、ステップ 3 に進みます。
- 既存の回線グループを更新するには、対象となる回線グループを見つけて (P.35-2 の「回線グループの検索」を参照)、ステップ 3 に進みます。

ステップ 3 表示される [回線グループの設定 (Line Group Configuration)] ウィンドウで、[回線グループ名 (Line Group Name)] フィールドに名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各回線グループ名が、そのルートプランに固有の名前であることを確認してください。



ワンポイント・アドバイス

回線グループには、内容を簡潔に表す名前を使用してください。通常、CompanynameLocationGroup の形式が、内容を簡潔に表し、回線グループをすばやくかつ簡単に識別できる方式です。たとえば、「CiscoDallasAA1」は、Dallas にある Cisco オフィス用の Cisco Access Analog 回線グループを示します。

ステップ 4 適切な設定値を選択します (表 35-1 を参照)。

ステップ 5 [保存] をクリックして、この回線グループを追加または更新します。

追加情報

P.35-12 の「関連項目」を参照してください。

回線グループの設定値

表 35-1 では、回線グループの設定値について説明します。

表 35-1 回線グループの設定値

フィールド	説明
[回線グループ情報 (Line Group Information)]	
[回線グループ名 (Line Group Name)]	この回線グループの名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。各回線グループ名が、そのルートプランに固有の名前であることを確認してください。
[RNA 復帰タイムアウト (RNA Reversion Timeout)]	コールの応答がない場合や、最初のハント オプション ([Try next member; then, try next group in Hunt List]) が選択されている場合に、この回線グループで次に対応可能またはアイドル状態のメンバー、または次の回線グループに対して、Cisco Unified CallManager がコールの分散を開始するまでの時間を、秒単位で入力します。[RNA 復帰タイムアウト (RNA Reversion Timeout)] は、回線グループ レベルで、すべてのメンバーに適用されます。
[分配アルゴリズム (Distribution Algorithm)]	ドロップダウンリスト ボックスで、回線グループ レベルで適用される次の分散アルゴリズムのオプションを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Top Down] : この分散アルゴリズムを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco Unified CallManager がメンバーに対してコールを分散します。 • [Circular] : この分散アルゴリズムを選択すると、Cisco Unified CallManager は、アイドルまたは対応可能状態のメンバーに対するコールの分散を、回線グループの (n+1) 番目のメンバーから開始します。n 番目のメンバーは、Cisco Unified CallManager が最後にコールを延長したメンバーです。n 番目のメンバーが、回線グループの最後のメンバーの場合、Cisco Unified CallManager は回線グループの先頭からコールの分散を開始します。 • [Longest Idle Time] : この分散アルゴリズムを選択すると、回線グループでアイドル時間が最長のメンバーから最短のメンバーまで、Cisco Unified CallManager がアイドル状態のメンバーだけにコールを分散します。 • [Broadcast] : この分散アルゴリズムを選択すると、Cisco Unified CallManager は、回線グループでアイドルまたは対応可能状態のすべてのメンバーに対して、同時にコールを分散します。ブロードキャスト分散アルゴリズムを使用する場合のその他の制限事項については、[選択された DN/ ルートパーティション (Selected DN/Route Partition)] フィールドの説明にある注を参照してください。 <p>デフォルト値は、[Longest Idle Time] です。</p>

表 35-1 回線グループの設定値 (続き)

フィールド	説明
[ハントオプション (Hunt Options)]	
[応答なし (No Answer)]	<p>任意の分散アルゴリズムに対して、応答のない回線グループのメンバーにコールが分散されている場合に使用する Cisco Unified CallManager のハント オプションを選択します。このオプションは、メンバー レベルで適用されます。ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Try next member; then, try next group in Hunt List] : このハント オプションを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco Unified CallManager がメンバーに対してコールを分散します。分散に失敗した場合、Cisco Unified CallManager はハント リスト内の次の回線グループに対して分散を試行します。 • [Try next member, but do not go to next group] : このハント オプションを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco Unified CallManager がメンバーに対してコールを分散します。現在の回線グループの最後のメンバーに到達すると、Cisco Unified CallManager は分散を停止します。 • [Skip remaining members, and go directly to next group] : このハント オプションを選択すると、この回線グループの最初のメンバーに対する分散の試行時間が [RNA 復帰タイムアウト (RNA Reversion Timeout)] の設定値を経過した場合、Cisco Unified CallManager が残りのメンバーをスキップします。Cisco Unified CallManager は、そのままハント リスト内の次の回線グループへと試行を継続します。 • [Stop hunting] : このハント オプションを選択すると、Cisco Unified CallManager は、この回線グループの最初のメンバー、およびコールに応答しないメンバーに対してコールの分散を試行した後、ハントを停止します。

表 35-1 回線グループの設定値 (続き)

フィールド	説明
[話し中 (Busy)]	<p>任意の分散アルゴリズムに対して、ビジー状態の回線グループのメンバーにコールが分散されている場合に使用する Cisco Unified CallManager のハント オプションを選択します。ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Try next member; then, try next group in Hunt List] : このハント オプションを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco Unified CallManager がメンバーに対してコールを分散します。分散に失敗した場合、Cisco Unified CallManager はハント リスト内の次の回線グループに対して分散を試行します。 • [Try next member, but do not go to next group] : このハント オプションを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco Unified CallManager がメンバーに対してコールを分散します。現在の回線グループの最後のメンバーに到達すると、Cisco Unified CallManager は分散を停止します。 • [Skip remaining members, and go directly to next group] : このハント オプションを選択すると、ビジー状態のメンバーがいた場合、Cisco Unified CallManager はこの回線グループの残りのメンバーをスキップします。Cisco Unified CallManager は、そのままハント リスト内の次の回線グループへと試行を継続します。 • [Stop hunting] : このハント オプションを選択すると、Cisco Unified CallManager は、この回線グループでビジー状態の最初のメンバーに対してコールの分散を試行した後、ハントを停止します。

表 35-1 回線グループの設定値 (続き)

フィールド	説明
[使用不可 (Not Available)]	<p>任意の分散アルゴリズムに対して、対応可能状態ではない回線グループのメンバーにコールが分散されている場合に使用する Cisco Unified CallManager のハント オプションを選択します。[使用不可 (Not Available)] 状態が発生するのは、該当する DN に関連付けられている電話機が、すべて未登録である場合です。また、エクステンション モビリティを使用しているときに、DN またはユーザがログインしていない場合も [使用不可 (Not Available)] になります。ドロップダウン リスト ボックスから、次のオプションを選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Try next member; then, try next group in Hunt List] : このハント オプションを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco Unified CallManager がメンバーに対してコールを分散します。分散に失敗した場合、Cisco Unified CallManager はハント リスト内の次の回線グループに対して分散を試行します。 • [Try next member, but do not go to next group] : このハント オプションを選択すると、回線グループでアイドルまたは対応可能状態にある最初のメンバーから最後のメンバーまで、Cisco Unified CallManager がメンバーに対してコールを分散します。現在の回線グループの最後のメンバーに到達すると、Cisco Unified CallManager は分散を停止します。 • [Skip remaining members, and go directly to next group] : このハント オプションを選択すると、対応可能状態にないメンバーがいた場合、Cisco Unified CallManager はこの回線グループの残りのメンバーをスキップします。Cisco Unified CallManager は、そのままハント リスト内の次の回線グループへと試行を続けます。 • [Stop hunting] : このハント オプションを選択すると、Cisco Unified CallManager は、この回線グループで対応可能状態にない最初のメンバーに対してコールの分散を試行した後、ハントを停止します。
[回線グループメンバー情報 (Line Group Member Information)]	
[回線グループに追加する電話番号の検索 (Find Directory Numbers to Add to Line Group)]	
[Partition]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、この回線グループのルートパーティションを選択します。デフォルト値は、[<None>] です。</p> <p>[検索] をクリックすると、[使用可能 DN/ ルートパーティション (Available DN/Route Partition)] リスト ボックスに、選択されたパーティションに属する電話番号 (DN) がすべて表示されます。</p>
[次を含む電話番号 (Directory Number Contains)]	<p>検索する電話番号に含まれる文字を入力し、[検索] ボタンをクリックします。入力した文字と一致する電話番号が [使用可能 DN/ ルートパーティション (Available DN/Route Partition)] ボックスに表示されます。</p>
[使用可能 DN/ ルートパーティション (Available DN/Route Partition)]	<p>[使用可能 DN/ ルートパーティション (Available DN/Route Partition)] リスト ボックスで電話番号を選択し、[回線グループに追加] をクリックして、その電話番号を [選択された DN/ ルートパーティション (Selected DN/Route Partition)] リスト ボックスに追加します。</p>

表 35-1 回線グループの設定値 (続き)

フィールド	説明
[現在の回線グループメンバー (Current Line Group Members)]	
[選択された DN/ ルートパーティション (Selected DN/Route Partition)]	<p>電話番号の優先順位を変更するには、[選択された DN/ ルートパーティション (Selected DN/Route Partition)] リストボックス内の電話番号を選択します。そのリストボックスの右側にある矢印をクリックして、リスト内でその電話番号を上下に移動させてください。</p> <p>[選択された DN/ ルートパーティション (Selected DN/Route Partition)] リストボックス内の電話番号の優先順位を逆転するには、[選択された DN/ ルートパーティションの順番を逆にする] をクリックします。</p> <p>回線グループ内の電話番号の順序の詳細については、『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「ルートプランの概説」を参照してください。</p> <p></p> <p>(注) 共有回線の DN は、ブロードキャスト分散アルゴリズムを使用している回線グループには入れないでください。DN が、[ブロードキャスト] 分散アルゴリズムを使用している回線グループのメンバーである場合、Cisco Unified CallManager は、その DN が共有回線として設定されているデバイス上にある共有回線の DN を、すべて表示することができません。</p>
[削除された DN/ ルートパーティション (Removed DN/Route Partition) ([保存] をクリックしたときに、回線グループから削除)]	[選択された DN/ ルートパーティション (Selected DN/Route Partition)] リストボックスで電話番号を選択し、その電話番号を [削除された DN/ ルートパーティション (Removed DN/Route Partition)] リストボックスに追加します。これには、この 2 つのリストボックス間にある下矢印をクリックします。
[電話番号 (Directory Numbers)]	
(この回線グループに属している DN のリスト)	所定の電話番号の [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウに移動するには、このリスト内の電話番号をクリックします。

追加情報

P.35-12 の「[関連項目](#)」を参照してください。

回線グループへのメンバーの追加

新規または既存の回線グループに、メンバーを追加することができます。既存の回線グループにメンバーを追加する手順は、次のとおりです。

始める前に

この手順を実行する場合は、事前に少なくとも 1 つの電話番号を指定しておく必要があります。

手順

-
- ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [回線グループ] の順に選択します。
 - ステップ 2** メンバーを追加する先の回線グループを特定します。P.35-2 の「回線グループの検索」を参照してください。
 - ステップ 3** 電話番号を特定する必要がある場合は、[Partition] ドロップダウン リスト ボックスからルートパーティションを選択し、[次を含む電話番号 (Directory Number Contains)] フィールドに検索文字列を入力して、[検索] をクリックします。パーティションに属する電話番号をすべて検索するには、[次を含む電話番号 (Directory Number Contains)] フィールドをブランクのままにして、[検索] をクリックします。

[使用可能 DN/ ルートパーティション (Available DN/Route Partition)] リスト ボックスに、一致する電話番号のリストが表示されます。
 - ステップ 4** [使用可能 DN/ ルートパーティション (Available DN/Route Partition)] リスト ボックスで追加する電話番号を選択し、[回線グループに追加] をクリックして、その電話番号を [選択された DN/ ルートパーティション (Selected DN/Route Partition)] リスト ボックスへ移動します。この回線グループに追加する各メンバーに対して、この手順を繰り返します。
 - ステップ 5** [選択された DN/ ルートパーティション (Selected DN/Route Partition)] リスト ボックスで、新しい電話番号がこの回線グループ内でアクセスされる順序を選択します。順序を変更するには、電話番号をクリックしてから、リスト ボックスの右側にある上矢印または下矢印を使用して、電話番号を移動します。
 - ステップ 6** [保存] をクリックして、新しい電話番号を追加し、この回線グループの電話番号の順序を更新します。
-

追加情報

P.35-12 の「関連項目」を参照してください。

回線グループからのメンバーの削除

新規または既存の回線グループから、メンバーを削除することができます。既存の回線グループから電話番号を削除する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [回線グループ] の順に選択します。
 - ステップ 2** 削除する電話番号が入っている回線グループを特定します。P.35-2 の「[回線グループの検索](#)」を参照してください。
 - ステップ 3** [選択された DN/ルートパーティション (Selected DN/Route Partition)] リスト ボックスで削除する電話番号を選択し、リスト ボックスの下にある下矢印をクリックして、[削除された DN/ルートパーティション (Removed DN/Route Partition)] リスト ボックスへ電話番号を移動します。この回線グループから削除する各メンバーに対して、この手順を繰り返してください。
 - ステップ 4** メンバーを削除するには、[保存] をクリックします。
-

追加情報

P.35-12 の「[関連項目](#)」を参照してください。

回線グループの削除

回線グループを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

1 つまたは複数のルート/ハントリストが参照している回線グループは、削除することができません。回線グループを使用しているハントリストを検索するには、[回線グループの設定 (Line Group Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリストボックスにある [依存関係レコード] を選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能でない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、P.A-4 の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。使用されている回線グループを削除しようとする、Cisco Unified CallManager はエラーメッセージを表示します。現在使用中の回線グループを削除する場合は、事前に、次の作業を実行しておく必要があります。

- 回線グループを削除する前に、その回線グループが属しているすべてのハントリストから、その回線グループを削除する。P.33-8 の「[ルートリストからのルートグループの削除](#)」を参照してください。



ヒント

回線グループとハントパイロットを削除するには、まずハントパイロットを削除し、次にハントリストを削除して、最後に回線グループを削除します。

手順

- ステップ 1** [コールルーティング] > [ルート/ハント] > [回線グループ] の順に選択します。
- ステップ 2** 削除する回線グループを特定します。P.35-2 の「[回線グループの検索](#)」を参照してください。
- ステップ 3** 削除する回線グループの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックします。

回線グループを削除すると取り消せないことを警告するダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** 回線グループを削除するには、[OK] をクリックします。削除操作を取り消すには、[キャンセル] をクリックします。[OK] をクリックすると、Cisco Unified CallManager により、回線グループが削除されます。



(注) 該当する回線グループの横にあるチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除] をクリックすると、[回線グループの検索と一覧表示 (Find and List Line Groups)] ウィンドウから複数の回線グループを削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、ウィンドウ内のすべての回線グループを削除できます。

追加情報

P.35-12 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

回線グループ

- [回線グループの検索 \(P.35-2\)](#)
- [回線グループの設定 \(P.35-3\)](#)
- [回線グループの設定値 \(P.35-4\)](#)
- [回線グループへのメンバーの追加 \(P.35-9\)](#)
- [回線グループからのメンバーの削除 \(P.35-10\)](#)
- [回線グループの削除 \(P.35-11\)](#)

ルート リストおよびルート グループ

- [ルート リストの追加 \(P.33-4\)](#)
- [ルート リストへのルート グループの追加 \(P.33-6\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「ルート プランの概要」